

こども園・ひかりのこ さっぽろ 自己評価集計結果（後期）

評価は、3段階です → A・・・できた B・・・少しはできた C・・・まだできていない

📎教育・保育課程

		A	B	C
1	認定こども園保育・教育要領の内容に沿った乳幼児の発達に即した指導をしている。	0	11	0
		0%	100%	0%
2	園の教育・保育課程の編成、実施の考え方について理解している。	4	6	1
		36%	54%	10%
3	園の教育・保育課程に基づいて、指導計画や日案などの作成をしている。	2	9	0
		19%	81%	0%
4	園の教育・保育課程に基づいて、遊具・用具を活用している。	2	9	0
		19%	81%	0%
5	園の理念や目標の下に園行事を実施している。	5	6	0
		46%	54%	0%

📎乳幼児教育

		A	B	C
1	乳幼児に適した環境を意識し、学級運営をしている。	1	10	0
		10%	90%	0%
2	環境を通して行う、こども園教育を実施している。	1	10	0
		10%	90%	0%
3	乳幼児との信頼関係が構築されている。	5	6	0
		46%	54%	0%
4	乳幼児の主体的な活動が尊重されている。	3	7	1
		28%	63%	9%
5	遊びを通じた総合的な指導が適切に行われている。	1	8	2
		10%	72%	18%

📎保健管理

		A	B	C
1	家庭と連携し、一人一人の健康管理に努めている。	9	2	0
		82%	18%	0%
2	日常の健康観察や、疾病予防の為の取り組みを適切に行っている。	5	6	0
		46%	54%	0%

安全管理

		A	B	C
1	事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、日々の保育・教育にあたっている。	4	6	1
		36%	54%	10%
2	危機管理マニュアルを活用し、対応している。	0	10	1
		0%	90%	10%
3	安全点検や教職員・幼児の安全対応能力の向上を図るための取り組みを行っている。	2	9	0
		19%	81%	0%

特別支援教育

		A	B	C
1	特別な支援を必要とする乳幼児について、個別の教育支援を計画し、実施している。	1	9	1
		10%	81%	9%
2	特別な支援を必要とする乳幼児について、家庭及び医療や福祉などの関係機関との連携を適切に図っている。	0	10	1
		0%	90%	10%

情報提供

		A	B	C
1	園児の個人情報を保護している。	11	0	0
		100%	0%	0%
2	クラス便りなど、保護者を対象とした情報の公開に適切な工夫がなされている。	6	4	1
		54%	36%	10%

保護者・地域との連携 子育て支援

		A	B	C
1	保護者から寄せられた具体的な意見や要望を把握し、適切に対応している。	3	6	2
		28%	54%	18%
2	保護者との連絡の充実を図っている。	5	5	1
		45%	45%	10%
3	保護者懇談会の内容の充実を図っている。	3	8	0
		28%	72%	0%
4	カウンセリングの基礎を理解し、保護者の相談に対応している。	3	6	2
		28%	54%	18%
5	地域との協力を意識し、保育・教育にあたっている。	1	8	2
		10%	72%	18%

✎教育環境整備

		A	B	C
1	学習・生活環境の充実の為に、遊具・用具・玩具・図書などを整備している。	2	6	3
		19%	54%	27%
2	施設・設備の安全・維持管理の為に点検に取り組んでいる。	2	6	3
		19%	54%	27%

✎組織運営

		A	B	C
1	クラスリーダーは適切にリーダーシップを発揮し、他の職員から信頼を得ている。	0	9	2
		0%	82%	18%
2	明確な方針を示し、それに基づいて学級運営ができるよう指導している。	1	8	2
		10%	72%	18%
3	保育教諭の保育・教育状況を的確に把握すると共に、適切な指導・助言を行っている。	0	7	4
		0%	64%	36%

✎その他

		A	B	C
1	雑用と言われるような仕事も率先して行っている。	2	7	2
		18%	64%	18%
2	決められた係の仕事をしっかり行っている。	3	7	1
		17%	83%	0%
3	電話・来客者への対応をしっかりとしている。	7	4	0
		64%	36%	0%
4	実習性に対して丁寧な指導、思いやりのある対応を心がけている。	7	4	0
		64%	36%	0%
5	提出物の期日を守れている。	0	5	6
		0%	46%	54%
6	園内の整理整頓・美化に努めている。	2	8	1
		18%	72%	10%

<課題点・改善案>

○今年度は新人保育教諭も多いことから、新たにサブリーダーというポジションを設けてみた。

これまでも自分の経験年数や立場を考え、業務にあたってはいたが、しっかりとサブリーダーを任命することで、リーダーを補助しようとする意識や、関する記述が多かったように思う。

○前期に引き続き、新人保育教諭や後輩への指導には難しさや課題を多くもっている。

組織運営の項目を見ても、前期同様(A)はほぼ0パーセントである。主幹副主幹中心に、クラスリーダーへの指導やサポートをより厚く行う必要性を感じる。だが、指導する立場であるからこそ、自分自身の課題に気づけているような記述や、評価もあり、前向きに来年度へ繋げていきたいと思う。

また、経験が浅い保育教諭が多いからこそ、コミュニケーションや意思疎通、連携の大切さを感じているリーダーが多いので、これに関しても主幹副主幹が加わり、共通認識を持っていきたい。

○保健管理に関する項目が若干ではあるが、評価が良くなっているように思う。毎年流行るインフルエンザや胃腸炎もあまり流行することなく、健康に過ごすことが出来ていた。

年度末には新型コロナウイルスの影響も大きく、先生たちの保健管理に対する意識は高まっているので、来年度も維持していきたい。

